

～企業と連携した生涯活躍のまち～

地方創生の目標

人口減少の歯止め

地域経済の活性化

東京一極集中の是正

地方創生 上士幌町総合戦略の達成度【KPI】(平成27年～)

■人口(暦年)

| 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 |
|-------|-------|-------|-------|
| 2人増 | 31人増 | 71人増 | 12人増 |

計 116人増

■東京一極集中の是正(首都圏)

| 平成28年 | 転入46人 | 転出9人 | 転入増37人 |
|-------|-------|-------|--------|
| 平成29年 | 転入41人 | 転出23人 | 転入増18人 |
| 平成30年 | 転入46人 | 転出21人 | 転入増25人 |

計 80人転入

■世帯主における若者(20代～40代)の転入者率

| | | |
|-------|-------------------|-------|
| 平成28年 | 若者214人 / 全世帯主254人 | 84.2% |
| 平成29年 | 若者196人 / 全世帯主234人 | 83.4% |

■合計特殊出生率

| 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 |
|-------|-------|-------|
| 1.53 | 1.67 | 1.70 |

■高齢化率上昇にストップ

平成29年4月
35.00%

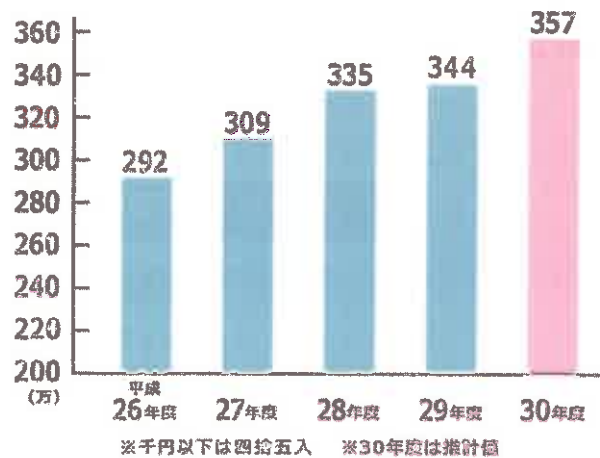


平成30年4月
34.62%

地方創生 地域経済の活性化

1. 上士幌町の平均所得の推移

※総務省発表の統計資料を基に、市町村別の課税所得の総額を納税者数で除算した額を平均所得と規定し、平均所得を算出



2. 新規企業、雇用の創出

- ・平成27年度 (株)十勝製菓
- ・平成27年度 (株)トラスバンクサテライトオフィス(コールセンター)
- ・平成29年度 (株)上士幌町資源循環センター
- ・平成29年度 (株)生涯活躍のまち かみしほろ
- ・平成30年度 (株)地域商社カーチ
- ・平成31年度 人材派遣会社営業所開設予定!

■ 上士幌町平均所得順位と所得の伸び率

| | 全国順位 | 伸び率 (26年度比) |
|--------|------|----------------|
| 平成26年度 | 475位 | — |
| 平成27年度 | 344位 | 5.8% |
| 平成28年度 | 183位 | 15.0% |
| 平成29年度 | 148位 | 17.8% |
| 平成30年度 | 未集計 | 22.2% |

※地方自治体調査は平成27年度(2015年度)初年度～5カ年・平成31年度(2019年度)最終年

■ 平成29年度平均所得北海道市町村(179)順位

| | | |
|-----|------|-------------|
| 1位 | 猿払村 | 814万円(全国3位) |
| 10位 | 士幌町 | 354万円(十勝1位) |
| 11位 | 上士幌町 | 344万円(十勝2位) |
| 12位 | 鹿追町 | 340万円(十勝3位) |
| 64位 | 帯広市 | 293万円 |

■ 上士幌町2015年国勢調査(昼間人口)

| | |
|------|----------------|
| 人口 | 4,765人 |
| 昼間人口 | 5,187人(108.9%) |

- ・仕事などで昼間の人口が422人増える。
- ・昼夜人口の均衡を図るために住宅支援対策。

【賃貸住宅建設件数】

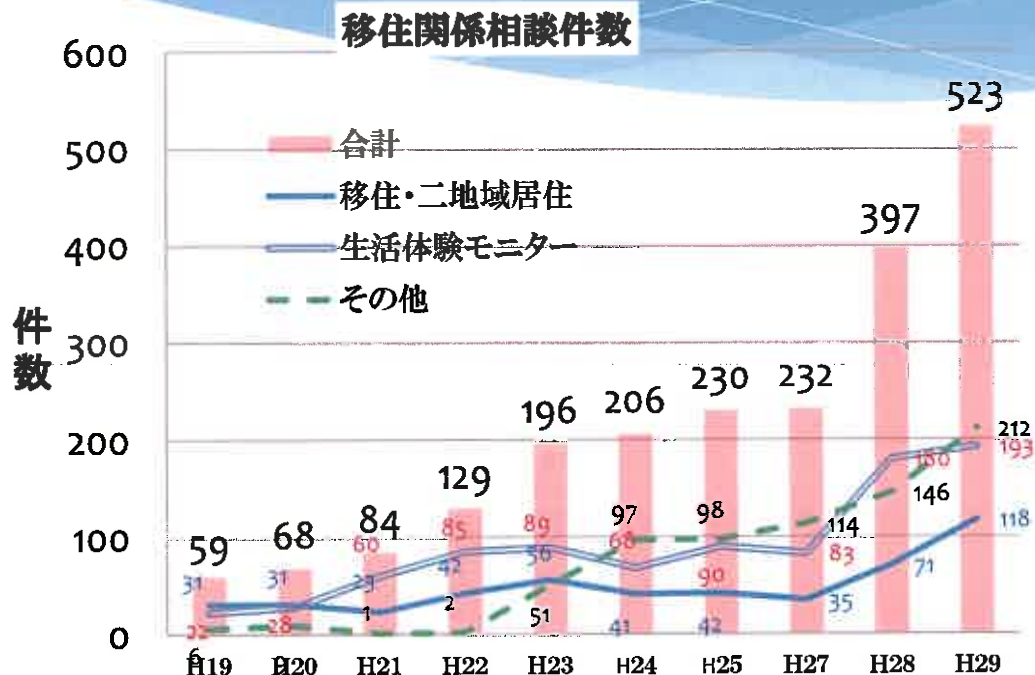
- ・平成27年度～30年度
計 115棟 248戸
- ・子育て支援住宅
43戸

移住定住、お試し暮らしの実績 北海道トップレベル

| 年度 | 生活体験実績者数 |
|-----|----------|
| H19 | 8組 15人 |
| H20 | 23組 45人 |
| H21 | 38組 91人 |
| H22 | 32組 54人 |
| H23 | 30組 57人 |
| H24 | 23組 73人 |
| H25 | 36組 102人 |
| H26 | 37組 94名 |
| H27 | 42組 83人 |
| H28 | 63組 151人 |
| H29 | 56組 157人 |

| 年度 | 移住定住実績 |
|-----------|-----------------|
| H19~20 | 19組 39人 (3) |
| H21 | 4組 8人 |
| H22 | 3組 4人 |
| H23 | 5組 12人 (1) |
| H24 | 3組 7人 |
| H25 | 10組 21人 |
| H26 | 9組 15人 (2) |
| H27 | 6組 14人 (1) |
| H28 | 7組 13人 (2) |
| H29 | 9組 21人 (1) |
| 総計 | 75組 150人 |

* ()は2地域居住で8組10人



平成29年度北海道お試し暮らし
ランキング 上士幌町第2位

移住者が定期的に情報交換会を
開催

| 順位 | 利用者数 | 順位 | 滞在日数 |
|----|------------|----|--------------|
| 1 | 釧路市 1,419人 | 1 | 釧路市 21,303日 |
| 2 | 上士幌町 156人 | 2 | 新ひだか町 4,981日 |
| 3 | 東川町 144人 | 3 | 上士幌町 3,815日 |
| 4 | 新ひだか町 111人 | 4 | 浦河町 3,532日 |
| 5 | 中標津町 86人 | 5 | 美瑛町 2,712日 |
| 6 | 浦河町 85人 | 6 | 紋別市 2,502日 |
| 7 | 紋別市 73人 | 7 | 旭川市 1,940日 |
| 8 | 栗山町 71人 | 8 | 中標津町 1,774日 |
| 9 | 厚沢部町 62人 | 9 | 当別町 1,721日 |
| 10 | 根室市 58人 | 10 | 日高町 1,687日 |



ふるさと納税 生涯活躍いきがい基金を創設

平成29年5月26日 上士幌町議会で可決

地方創生 生涯活躍のまち かみしほろ 健康寿命の延伸

地域包括ケアの充実

医療・介護・生活支援・
住宅・予防・健康

生涯現役人材 センター

生涯学習
かみしほろ塾

田舎暮らし・
アクティブシニア・
移住定住



(株)生涯活躍のまち かみしほろ 設立

出資者:上士幌町・JA上士幌町・上士幌町商工会・社会福祉協議会・
上士幌福寿協会・社会医療法人 北斗・上士幌コンシェルジュ・
十勝毎日新聞社・北洋銀行・北海道銀行・帯広信用金庫・
十勝信用組合・(株)コミュニティネット

平成31年度
「生涯活躍の
まち」新たな
取り組み

- 働き方改革を推進する都市企業と地方の連携
 - 1) お試しシェアオフィスによる関係人口の構築
 - 2) 首都圏に企業連携のプラットフォームとして
ウイワークに参加
 - 3) サテライトオフィス、テレワークの受け入れ
 - 4) 企業人を対象に逆参勤交代の実証実験

上士幌シェアオフィス構想

働き方改革
ICT基盤整備

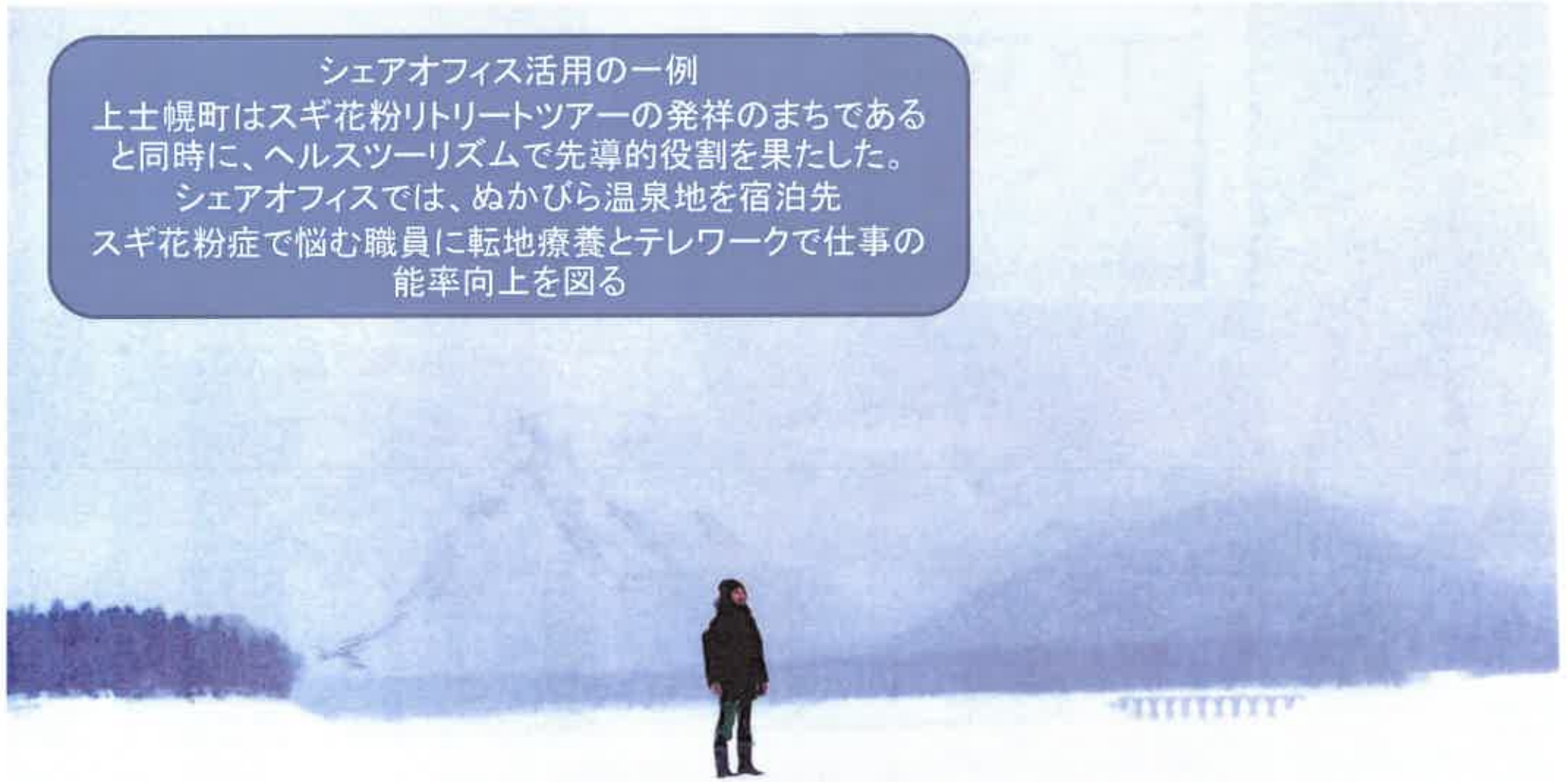
- 地方創生
- 企業の地方移転の入口としてのオフィス
 - ワーケーションなど働き方改革の一環として
 - 検診、仕事、リフレッシュ等、福利厚生事業として
 - 地域住民との交流で生涯活躍の場、関係人口の創出
 - 利用者(企業)の相互交流でビジネス展開



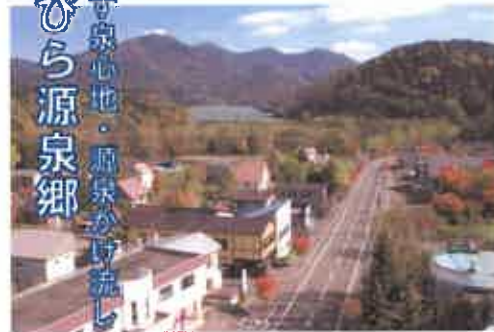
シェアオフィス活用の一例

上士幌町はスギ花粉リトリートツアーの発祥のまちであると同時に、ヘルスツーリズムで先導的役割を果たした。

シェアオフィスでは、ぬかびら温泉地を宿泊先スギ花粉症で悩む職員に転地療養とテレワークで仕事の能率向上を図る



心を癒す癒心地・源泉かけ流し
ぬかびら源泉郷



—20℃、北部戦線なにもなし。
聞いて下さい、吉幾三さま!!
今や“なにもない”は武器なんです!?

2019.2.19.

上士幌町、ウィーク活用

米国シェア都内に事務所契約 オフィス大手

【上士幌】町は企業誘致に向け、米国のシェアオフィス運営大手「WeWork(ウィーク)」と道内自治体で初めて契約する。東京都内のオフィスを活用し、ウィークの会員になっている多種多様な企業・団体とネットワークを構築、町内への進出も働き掛ける。国に申請している補助金の交付が決まれば、首都圏の企業を受け入れるためのシェアオフィスも町内に整備する。

会員交流で企業誘致も

WeWork(ウィーク) 本社は米ニューヨーク。世界各国で、起業家向けシェアオフィスを提供。昨年2月に日本に進出し、全国21カ所に拠点を持つ。ガラス張りで、ソファやネット回線を備え、企業同士が交流しやすい開放的な空間が特徴だ。大企業の利用も多く、日本での会員数は約6000人。

町が利用申請するのは東京銀座の商業施設「GINZA SIX」のオフィス。共用型のオープンスペースを借り、企業誘致に向けたPRイベントやセミナーを行う。

町が利用できる利点がある。利用料など約50万円を新年度予算に計上する。国内外の会員同士がSNSでやりとりできるネットワークも利点の一つ。会員になると、専用アプリを通じて情報の発信・収集を行うことができ、オフィスに

いなくても、関心を持った企業や個人間でメッセージを送信し合える。町は、首都圏の企業を呼び込むためのシェアオフィス整備も計画。建物2階建てで、上士幌の大自然を眺めながら仕事ができるようにする。共用スペースや

1白単位で利用できたり、ウェバ会議にも対応できる会議室を備える。東3線247の町有地を整備予定地とし、延べ床面積は178平方メートル。整備費5085万円を新年度予算に計上する。整備費の大半は地方創生

企業の地方移転(テレワーク等)のプラットフォームとしての機能



3フロアをウィークオフィスに活用 717席
4月から上士幌町が会員登録



WeWork城山トラストタワー
東京メトロ日比谷線「神谷町」
駅(徒歩3分)

拠点整備交付金などで賄う。交付が受けられなければ、事業をいったん見送ることも検討する。
竹中實町長は「企業が首都圏に一極集中し、地方の魅力が気づかれにくくなっている。上士幌を知ってもらい、実際に来てもらうことで、雇用創出や交流人口の拡大につなげたい」と話している。(安倍 隆)

「生涯活躍のまち」ネクストステージ

都市企業と上士幌町連携(マッチング)との相性、ターゲット企業

地域特性・魅力

- (1) ICT(情報通信技術)が整ったまち
- (2) 再生可能エネルギー(バイオマス・太陽光等)で電力自給率100%のまち、
停電しないまち
- (3) 食料自給率200%のまち、持続可能なまち

ターゲット企業とは

環境・健康・電気が命の企業、農業食料関係企業、情報通信関係企業

企業と連携した生涯活躍のまち 期待する事業

- ・企業と自治体をマッチングさせる基盤の構築
- ・首都圏を会場に企業と自治体のマッチングセミナーの開催
- ・テレワーク等受入れを希望している自治体情報の一元化と広報
- ・企業人を対象にした逆参勤交代モデル事業

人生100年時代、Society5.0・スマート社会を展望して

人間社会の歴史

Society5.0 (ソサエティ5.0)

(狩猟社会1.0 → 農耕社会2.0 → 工業社会3.0 → 情報社会4.0に続く社会)

スマート社会

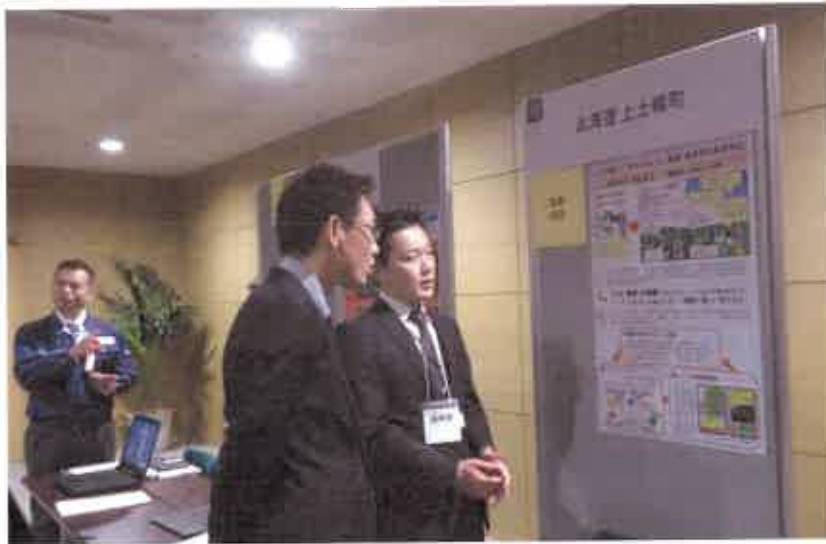
第4次産業革命

AI(人工知能)・ロボット・ICT(情報通信技術)等の急速な技術革新でこれらをベースにした新たな産業社会。

上士幌町の備え

- ・食料自給率2000%、再生可能エネルギー1000%(バイオマス・水力・太陽光含む)は、持続可能なまちの発展にとって大きな武器。(SDGs先進町)
- ・AI・IOT・ICT技術の発展による「第4次産業革命」やスマート社会への布石

- 上士幌町は酪農・畜産の町として、5Gの超高速、大容量の特性を生かして家畜の疾病や発情等を瞬時に把握して農業経営に活かすアイデアを提案。
- 全国、700を超える提案の中から選ばれ、パネル展示で紹介した。



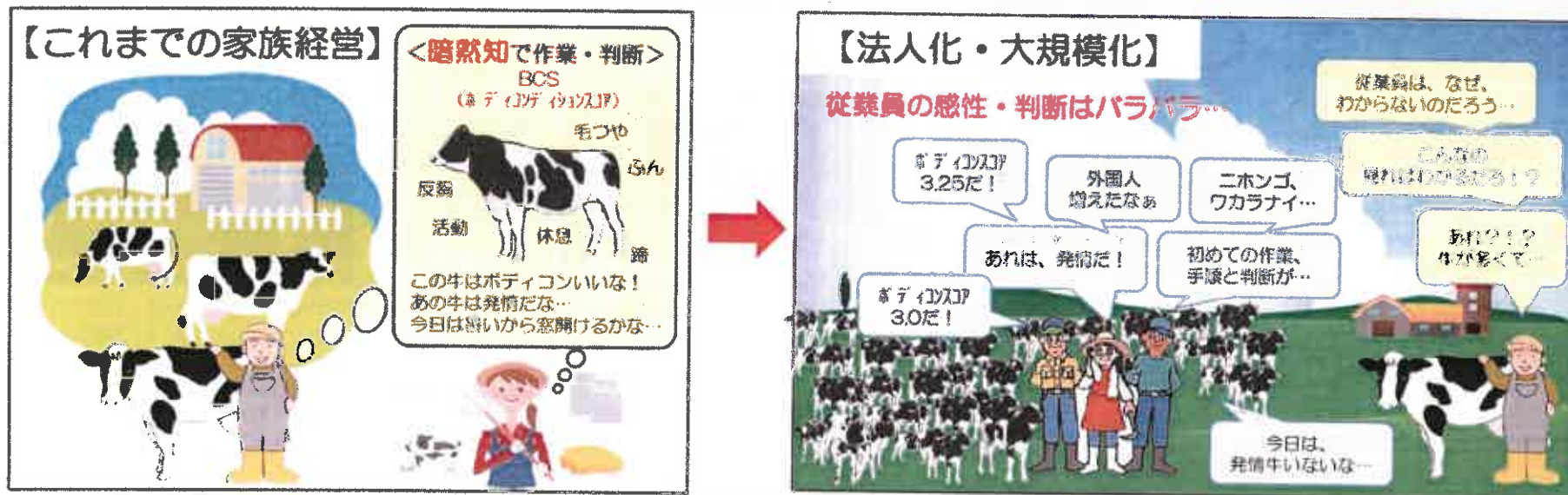
地方発の5G (次世代移动通信) の利活用アイデアを募集します

例：2030年ごろ…5Gを防災に使ったイメージ



| | | | | | |
|------|---------------------------|------|-------|------|------|
| 提案件名 | 「人工知能」と「見える化」で、酪農・畜産業を効率化 | 対象分野 | 産業・経済 | 応募者名 | 上士幌町 |
|------|---------------------------|------|-------|------|------|

大規模化が進む酪農・畜産業では、労働力の確保が難しく、今までの牧場主の経験や勘に頼った営農には限界がある。農村地域に5Gを導入することによって、畜産現場では難しかった高精細映像による情報収集など「見える化」を進め、数千億円とも言われている畜産業のロスコストを削減し、高効率な畜産経営を目指す。



これまでの家族経営の酪農業では、一人あたりの家畜の管理頭数は少なく、牧場主の「目」や家族の「暗黙知」の中で作業や判断を行ってきた。しかしながら、飼養頭数が増加している現在では、牧場主の目は隅々まで届かず、暗黙の了解で進めていた作業は従業員や外国人研修生には理解できず、ひとたび問題が起きれば、取り返しのつかない事態へと発展する。

例えば、発情を1回見逃すと1頭7.4万円の損失、上士幌町だけで約1万9千頭いるので、14億円の損失……

高性能カメラ・センサーを活用し、高精細な4K/8K映像による牛の行動や牛舎環境のデータなどを蓄積。これらを人工知能により分析し、「暗黙知」であった牧場主の「目」と「経験や勘」を誰でも共有、作業・判断基準を標準化します。

5Gの“高速・大容量”の特性を活かし、大量の高精細映像・センサーデータを分析、牧場主の「目」と「経験や勘」を「見える化」します。



2018年(平成30年)
12月12日 水曜日

あすの天気
6
9
12
15
18
最高-1℃
最低-10℃

発行所：十勝毎日新聞社
〒080-8688 帯広市東1条南8丁目
編集 ☎0155-22-2121 広告 ☎0155-23-2323
販売 ☎0155-24-2222 事業 ☎0155-22-7555
印刷 ☎0120-25-3999

karch (カーチ) 地元の観光資源を生かしたビジネス展開指し、5月に設立した観光地域商社(MO)。観光施設の運営や旅行商品、品の開発のほか、電力の販売事業も。資本金840万円のうち約6割を町資し、残りを北ガスや地元金融機関民間企業5社で担う。

上士幌新電力2月供給開始

道内初町内へ直接販売



上音更地区のバイオガスプラント

【上士幌】町などが出資する観光地域商社「karch(カーチ)」は来年2月から、町内の公共施設や農協施設への電力供給を始める。エネルギーの地産地消を目指し、自治体が出資して設立する「自治体新電力」は全国で参入が相次いでいるが、その多くが売電を目的にしており、直接販売に乗り出すケースとしては道内では初となる。畜産農家や民間事業所、一般家庭へは年明けから募集を始め、来年度からの販売開始を目指す。

町内では家畜のふん尿対して200頭分のふん尿を処理できる。農業生産法人ドリームヒルの個別プラント環センターが上士幌、上音更、北門地区にバイオガスプラントを建設。1基当たりの出力は300キロワットで、全額を売電してきた。今回は、上音更のフラン



トで発電している300キロワットを電力の調達や供給パランスの管理を担う北ガスが買い戻し、カーチの電力販売部門「かみしほる電力」に卸す。北ガスの買い取り金額は日本卸電力取引所(東京)の市場価格に基づいたものの、かみしほる電力は北ガスから定額で仕入れることができるため、安定した電力供給が可能になる。電気料金は、町役場や大規模農業法人などの大型施設は「基本料」が、小規模事業所や一般家庭は「使用料」がそれぞれ既存の電力会社に比べ、2、3割程度安くなる。カーチによると、町役場がかみしほる電力に切り替えた場合、年間ペイオフで現状より数千円ほど安くなるという。

町内では来年度以降、秋ヶ岡地区、東田地区にもプラント建設が予定されている。計画中を含む計6基が稼働すれば約2000キロワットの発電が可能になり、町内全域の電力需要を賅うことができる。

竹中實町長は「厄介者だった家畜のふん尿が資源に変わり、地域の経済循環につながる。全域停電時の電力確保や住民の省エネ意識向上など、エネルギーの地産地消は多面的な価値がある」と話している。